共助社会づくりを応援する情報誌 ┛❷♬

Conte % 6.

発 行

福岡県 NPO・ボランティア センター

最終号





ふくおか協働ひろば

- ●一般社団法人こがみらい ほか
- いとしまこども食堂ほっこり ほか

情熱クローズアップ

特定非営利活動法人わたしと僕の夢代表理事 佐藤 有里子さん

福岡県生涯学習情報提供サイト 「ふくおか生涯学習ひろば」がリニューアルしました!

2019年度から始まった、10年以上取引のない休眠預金

金の活用に関する法律」(休眠預金等活用法)に基づき

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資

を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する

ってためになる休眠預金制

2019年度から実施されている「休眠預金制度」。県内にも、休眠預金制度を活用して活動の幅を広げているNPO団体がいます。

そこで、今号では休眠預金制度の仕組みや特徴、県内での取組状況などについて紹介します。

4

3 2 1

(5)

社会的孤立や差別の解消に向けた支援

子ども及び若者の支援に係る活動

3つの分野(7つの社会課題)

休眠預金を活用して解決を目指す

日常生活や成長に困難を抱える子どもと 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える 子どもの支援

社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援 若者の育成支援

働くことが困難な人への支援 日常生活または社会生活を営む上での 困難を有する者の支援に関する活動

地域社会における活力の低下 地域の支援に関する活動 その他の社会的に困難な状況に直面している

7

安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

地域の働く場づくりの支援

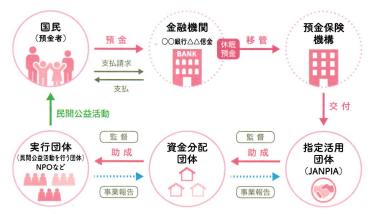
資金分配団体と実行団体

ながる民間公益活動を行うNPO等の「実行団体」に対 眠預金等に係る資金を原資として、社会課題の解決につ 構(JANPIA)が公募・選定した「資金分配団体」が、休 し、資金助成や事業の伴走型支援を行います。 指定活用団体である一般財団法人日本公益活動連携機 を活用した事業を行っています。 緊急支援助成枠として更に50億 33億円、新型コロナウイルス対応 目指す活動に対し、通常枠として の分野で7つの社会課題解決を においても多数の団体が休眠預金 円の助成枠が設けられ、福岡県内 2020年度は、休眠預金等活用制度の対象となる3つ 舞い上がれ 社会を変える みんなの力

休眠預金活用事業

休眠預金を活用した事業シンボ

休眠預金等の活用の流れ



資金分配団体及び実行団体 選考スケジュールの目安 (※2020年度通常枠の例)



休眠預金に関する情報は センターHPをご確認ください!

の構築などの知恵と工夫、それに多様なステークホル

て、コンソーシアムの総力を挙げて資金的支援とネッ

これらにコミットいただける実行団体の皆さまに対し

トワーク形成支援等の伴走支援をさせていただき.

緒になってこの世界を目指したいと考えています。

自身の成長と持続モデルの構築、そして幅広い共創 を共有し、起業や事業展開をサポートしあえる地域。 ダーとの共創が不可欠です。相互の知見や成功モデル 福岡県NPO・ボランティアセンターホームページでは、休眠預金の 資金分配団体及び実行団体の募集情報や募集スケジュール情報等、随時情報発信しています!是非ご覧ください!

岡野 秀之さん

コンソーシアム運営委員長

九州経済調査協会事業開発部長兼BIZCOLI館長 ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業

事業名

●公益財団法人九州経済調査協会 ●一般社団法人ユヌス・ジャパン

次世代に向けて

ソーシャルビジネスの土台を築くために

協会と、ノーベル平和賞ユヌス博士提唱のソーシャル

提言を担うシンクタンクである(公財)九州経済調査

ビジネスの普及啓発団体である(一社)ユヌス・ジャパ

ンにより設立しました。

を目的に、九州の地域経済に関する調査研究や政策

本コンソーシアムは、休眠預金活用制度の事業推進

https://www.nvc.pref.fukuoka.lg.jp/

制度の扉を開きました。 けるお手伝いができないかと考えて、休眠預金活用 す。九州でも、 ています。ソーシャルビジネスの成功には、事業モデル ネスといえば九州」という世界を創りあげたいと考え じめており、土壌を耕すことで、大きな実りに結びつ 経営」ですが、まさにソーシャルビジネスの考え方で た長期的な社会価値向上と事業成長の両立を目指す 次世代を担う子ども達のために、「ソーシャルビジ 近年流行のSDGS経営「社会課題の解決を通じ 、ソーシャルビジネスの萌芽がみられは



福岡 2020年度 通常枠で 資金分配団 県の 体

県内の2団体をご紹介します 資金分配団体に選定された ソーシャルビジネス・コンソーシアム 九州地域



(R3年1月現在)

	プログ ラム	資金分配団体	実行団体	事業 助成額 (円)	事業概要	事業期間
実行団体 通常枠	草の根活動支援事業(全国)	更生保護法人 日本更生保護協会	特定非営利活動法人 ジャパンマック	犯罪を犯した依存症者の 支援拠点づくり (10,470,000円)	犯罪を犯した依存症者に対する地域での再犯 防止・回復を可能とするコーディネート機関を創 設する。	3年
		更生保護法人 日本更生保護協会	特定非営利活動法人TFG	パープルエイド・ ブルークロス運動 (8,950,000円)	若年女性を対象としたアウドリーチ活動と相談活動、自立支援等の事業及び青少年にフォーカスした(再)非行防止運動を拡大して実施する。	
		公益財団法人 ブルーシー・アンド・ グリーンランド(B&G) 財団	特定非営利活動法人 あそびとまなび研究所	もじうみ里海探検隊 障害児等の体験格差解消事業 (5,360,000円)	発達障がいなど様々な障がいや、ひとり親家庭な ど、ハンディキャップのある子どもたちの体験格差 の解消を目指し、安全に通年の海辺や水辺の体 験活動を行える仕組みを作り上げる。	
	支援事業	一般社団法人 全国食支援活動 協力会	一般社団法人 コミュニティシンクタンク北九州	子ども食堂ネットワーク 北九州機能強化事業 (18,690,000円)	子ども食堂の関係者や支援者が無理なく活動で きるよう、サポート体制の構築や情報発信、産学 官民連携の環境づくりを実施する。	
	支援事業 ビジネス形成	公益財団法人 パブリックリソース 財団	特定非営利活動法人抱樸	支援付き住宅の複合モデル 「プラザ抱撲」の拡充と整備事業 (54,700,000円)	生活を営むことが困難な状況の方々に向けて支援付きの住宅を整備し、さらに制度・非制度を組み合わせた複合型な住まい群を形成する。	
実行団体 コロナ枠	緊急支援助成	公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ ジャパン	特定非営利活動法人 SOS子どもの村JAPAN	コロナ禍における 虐待防止と家族の分離予防 (10,000,000円)	コロナ禍による子どもショートステイの利用増と感染 防止に対応するため、子どもショートステイ施設の整 備、利用家族へのアセスメント、継続支援を実施する。	1年
		READYFOR 株式会社	特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡	社会的養護現場の 感染予防とオンラインケア (3,001,000円)	里親家庭及び児童福祉施設への感染予防に 必要な物資の支援や、オンライン環境整備に取 り組む。	
		READYFOR 株式会社	特定非営利活動法人抱樸	困窮・孤立世帯の子どもへの 総合型支援事業 (7,500,000円)	支援が必要な子どもやその家族に重点的な訪問型相談や遠隔相談を行い、各種支援につなぐことで、長期の困窮、孤立状態を防止する。	

(※2020年度 通常枠はR3年1月現在実行団体を募集中です)

★ 実行団体に聞きました! 申請する時のポイント /

特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡

コロナ禍において、社会的養護のもとで暮らす子どもたちや養育者も 感染への不安や活動の制限などに伴う様々な困難を抱えながら生活して います。こういった人々を支える基盤づくりのため、ソフトバンクホークス 千賀投手らがリーダーを務めるクラウドファンディングをきっかけとする 「ネクストダイアローグ・プロジェクト」の一環として、オンラインを活用し た対話支援などに挑戦します。

休眠預金活用制度は様々な助成金の中でも特に厳しいレベルの管理 を求められるため、専従事務局の雇用や区分経理についての組織内共有 などの工夫をしています。規程類の整備等を始めとした、ガバナンスやマ ネジメント上の対外的な信頼を高めるためのコストが必要となります。

この経験を通してそれぞれの実行団体がよい方向に成長していくこと を期待したいです。

特定非営利活動法人あそびとまなび研究所

年々、子どもたちが自然の中で仲間と自由に遊ぶという機会は減り続け ていましたが、コロナ禍で拍車がかかっています。本事業は、北九州市の自 然豊かな、身近な水辺や里山をフィールドにした子どもたちが仲間とともに 自然を体感する取組です。すべての子どもたちが分け隔てなく参加できる ことを目指しています。

実行団体の応募では申請書類が何枚もあり、計画書も膨大なものでした。 作りあげる過程で自分たちの目標を整理し、強みや欠けているものが顕在化 し、実際の活動に反映されています。また、助成決定前に活動現場の視察やヒ アリングを受けましたが、実際の現場で子どもたちとの活動の中から課題を 明確にし、その解決にしっかりと取り組んでいる点が評価されたと思います。

これまでの地域の中だけの活動では、得られなかった新たな視点や出会 いがたくさんあるので、ぜひ、チャレンジしてみてください。





先駆けとし、

持続可能な社会を

形成するモデルと なる取組をつくっていきたいと考えています。 自立して生きる子ども若者が増大する社会作りの ど)を伴走しながら実施します。そして、本事業を 資金的支援(団体の組織基盤強化や環境整備な 係性を大切にしながら、資金的支援のみならず非 今後は実行団体とイコールパートナーという関 むものにしていきたいと思っています。

先進的取組をせざるを得ない課題の解決に取り組

事業は、行政が課題としつつも目が届かず、民間が 域の持続可能性を高めると考えています。また、本 子ども若者が地域社会の次代を担うことで対象地 員として育成する」というものであり、対象となる 会的孤立を解消し、誇りある人生を送る社会の 環でした。本事業は「困難を抱える子ども若者の社 ことは、当財団設立当初からの優先課題取組の一 休眠預金等活用事業の資金分配団体に申請する

の課題解決に寄与してまいります。

本社会への受容、障がい者や高齢者問題など多く

通して子どもの貧困や教育、災害復興、外国人の日 いる個人・団体を支援する組織です。この仕組みを 筑後川関係地域の「人の役に立ちたい」と活動して 社会の一員として育成する 困難を抱える子ども若者を

当財団は市民の方々が様々な資源を持ち寄って

代表理事 宮原 信孝さん 困難を抱える子ども若者の孤立解消と育成 事業名





「ふくおか協働ひろば」は、異なる強みを持つ

福岡県のNPO、企業、行政などがお互いの知恵や力を持ち寄って、

とプロジェクトの周知を目的にクラウドファン

150万円を見事達成

クスペース」の開設を目指しました。まず、資金集め 目指す人や地域の人たちが交流できる「コワーキン 所がない」という学生の声をきっかけに、起業を

このプロジェクトは、「古賀市には人が集まれる場

*地域の人が集う拠点づくり*です

課題解決に取り組む「協働」の現場をお伝えするコーナーです。

コワーキングスペースの創出で 商店街をつながる居場所に!

くく 実施団体等 >> 一般社団法人こがみらいほか



たちが思いを一つにして知恵を出し合うことが や異業種交流会を通じて出会った事業者たちが 団法人こがみらい」です。きっかけは、 起業支援や地域活性化などの活動を行う「一般社 うと協働に向けて動き始めたのが、同市で女性の る活動を開始しました。 を持つ市民、学生、企業と協働で古賀市を盛り上げ より良いまちづくりにつながると思いました」と と知ったことからでした。「異なる年代、業種の人 古賀市に貢献したい」という思いを持っている が少なくなってきました。この課題を解決しよ 店街を中心にシャッター通りが増え、人通 、同団体代表の魚谷千代子さん。同じ志 地域の学生

か

画を実施しています。 働に参加する企業や団体の強みを活かした企 駅前でのクリスマスマーケットの開催など、協 古賀市の特産品を使った商品開発、JR古賀 その他にも、学生と地元の食品会社による

らに、まちづくりを牽引するコアな人材や協 たなアイデアや企画が生まれたといいます。さ 体で進めていきたい」と抱負を語ってくれま 面白い!』と言ってもらえるまちづくりを市全 高校生とコラボレーションした商品開発や学 透させることが目標と語る魚谷さん。市内の 成果も生まれました。今後は、CREATE 働に参加する商店街も増え、取組につながる 積極的に設けたことがお互いの刺激となり、新 を振り返る魚谷さん。学生と企業をつなぐ場を 一起業家の支援を予定しており、「『古賀って 「学生の存在がエネルギーになった」と活動 何かを始めるきっかけの場として地域に浸 MIRACOを和みの場、出会いの

頂味本舗 代表

本田 哲也さん

CREATE SPACE MIRACO マネージャ

リフォームする際には、建築を学ぶ専門学生 買っているといいます。 オリジナルバーガーがにぎわいづくりに オープンしました。コロナ禍の影響でリモート 店街にカフェを併設したコワーキングスペース 道な活動を続けた結果、2020年6月、 業と共に改修作業を進めました。そうした地 CREATE ークの場として活用する人が増えてきたほ 建築のプロに指導を受け、複数の地元企 また、空き店舗をコワーキングスペ 、学生と食品会社の「頂味本舗」が開発した 、カフェで販売する地元蒲鉾店の原料を使 SPACE MIRACOJが

建築作業協力 学生への指導・協力 (株)デザインネットワークアソシエイツ (株)デザインネットワークアソシエイツ (有)クィーンズホーム (株)ナダヨシ 麻生建築&デザイン専門学校 12 課題 成果 ●シャッター通りが増え、 図コワーキングスペースを 商店街に開設 まちに活気がない ●地域の人が集まれる ☑まちづくりの担い手となる 人材の発掘 場所がない

問い合わせ先 > 一般社団法人こがみらい

- ●住 所 古賀市天神1-12-25 くまやビル1階 CREATE SPACE MIRACO
- ●T E L 090-7440-5708

一般社団法人こがみらい

代表理事

魚谷 千代子さん

P https://www.csmiraco.com

拠点開設への協力 商品開発 頂味本舗

くまや蒲鉾(株)

運営 企画 一般社団法人こがみらい



まちの拠点づくり、をきっかけにまちを盛り上げる

を持つ学生と企業

が

コラ

ショ

賀市では、時代の移り変わりにより、商

もちよって、 くる、つなが 2

ふくお OD J

多世代ふれあい、次世代を育成する いとしまこども食堂ほっこり」

くく 実施団体等 >> いとしまこども 食堂 ほっこりほか

い家庭の子どもへ食事を提供するこども食堂 学校で保護者や先生方に説明会を実施。「貧し 流する場となるこども食堂の立ち上げを決意 調理した料理を地域住民と共に食べながら、交 援者を行政を介して募り、 を募る相談をし、子どもに調理を教えたい支 そこで、地元の中学校に調理するボランティア 際、保護者から「料理や洗濯などの家事をもつ 地域が抱えていた課題に取り組むきっかけと えてもらったらできる」との声があり、笹渕さんは たことからでした。一方、子どもたちからは「教 と子どもに手伝ってほしい」という悩みを聞い 孤立、引きこもりなどを解決したい」。以前から しました。 なったのは、笹渕さんが地域の役員をしていた 子どもが手伝いをできないのは、家事を教え この活動を始めるにあたり、まず地域の小中 「子どもから高齢者まで含めた貧困や孤食 ないから」と気づかされたといいます 、支援者と子どもが

ヨーやそば打ちなどのイベントを実施していま よる小中高生を対象とした学習指導支援、さら や農家の人と一緒に調理を行うほか ではなく、「子どもが主体となって活動するこど に特技を持つ地域住民を講師として招き、ヨー も食堂」であることを周知しました。 このこども食堂では中学生が主体となり企業 、大学生に

す。今後は定年したシニア男性の地域への参

な と地 体 を 域でつくるこども食 通 きる を

さま

さきま

30

できる良い経験となりました」と話します。 では交流できない様々な人とつながることが 動に携わる重久夏帆さんは、「普段の学生生活 ボランティアという意味です。副代表として活 ち上げました。ボロンタリアとはイタリア語で ろうと大学生が「ほっこりボロンタリア」を立 活動ができない中学生が戻ってくる場所を守 きているといいます。コロナ禍でボランティア つながりを活かすことで、幅広い取組が実現で ではできない取組も支援者それぞれの強みや がりができました。協働のメリットとして、1人 るのがやりがいです」と笹渕さん。SNSを使 が増え、自信をつけて成長していく姿を見られ いきと活動できる工夫も重ねていきます。 「参加した子どもが活動を通してできること 、企業や行政を含む全国約3団体とつな

場所にしたい」と抱負を語ってくれました。 もたちが大人になっても遊びに来られるような 所を立ち上げました。「活動に参加した方が『関 いう学習指導支援をメインとした子どもの居場 学校校区で「ほっとカフェぬくもり寺子屋」と わってよかった』『来てよかった』と思えて、子ど 最近では、新たな取組として、 仲間が隣の



企画

学習支援

食品・食材の提供

いとしまこども食堂ほっこり ほっこりボロンタリア

ほっこりボロンタリア 九州大学iTOP

調理支援

大法寺仏教婦人会

糸島市更生保護女性会

大法寺仏教婦人会 富士食品株式会社 株式会社マルハン 福岡市BBS会

課題

●子どもの貧困や孤食、 孤立、引きこもり

糸島市立前原東中学校

やるキッズ

ほっこりボロンタリア

●子どもが家事を 学べる場がない

☑ 地域住民と交流しながら 子どもが家事を 学べる場を創出

成果



企画 糸島市NPOボランティアセンター 九電みらい財団 糸島市社会福祉協議会 ほっとカフェぬくもり寺子屋



発起人が、同団体の代表でもある笹渕隆広さ

を行う「いとしまこども食堂ほっこり」は、多

に、調理指導支援や学習指導支援など どもが将来、自立して生活できるよう

くの有志から成るボランティア団体です。その

んです。



画の場、居場所づくりにつなげ、みんながいき

いとしまこども食堂ほっこり 代表 笹渕 隆広さん 副代表 重久 夏帆さん

問い合わせ先〉いとしまこども食堂ほっこり

- ●住 所 糸島市潤1-19-14
- ●T E L 090-7385-4779
- P https://www.facebook.com/ itoshimakodomosyokudou/



No.04

代表理事 佐藤 有里子さん

しているシングルマザーへ就業支援をす

前から母子家庭が抱える問題 を解決するため、経済的に困窮

特定非営利活動法人わたしと僕の夢

今回のテーマ

子どもの貧困

社会問題となっています。 会を失ってしまい、貧困の連鎖を招くことが 親世代の貧困を原因に教育や社会経験の機 ナ禍でより一層格差社会は広がっています。 活状況が浮き彫りとなっています。また、コロ 親世帯の貧困率は48・1%に上り、苦しい牛 あり、特に大人1人で子どもを育てるひとり 日本では7人に1人の子どもが貧困状態に

を実践しています

とを団体の役割として、主に3つの活動 心身の育成」「人生の視野を広げる」こ 人わたしと僕の夢」を9年前に設立。 ることを理念に掲げ「特定非営利活動法 を通して子どもが生きる力を身につけ 鎖を断ち切りたい。この思いから、教育 境に恵まれなかったことで続く貧困の連 苦しむ女性も少なくありません。家庭環 め、仕事がなかなか見つからず、貧困に ました。実際、高校を卒業していないた 経済的に厳しい」という悩みが見えてき く、高校受験のために塾に通わせたいが 話し合った結果、「子どもの学力が低 他にできることはないかと母親たちと を解決することはできない。そう考え だけでは母子家庭が抱える問題の全て る事業を行っていました。しかし、それ

「子どもの学力の向上」「子どもらしい

の将来の選択肢が増えると考え、 塾です。高校に進学することで、子ども

、地域住

ことを目標とした小中学生向けの無料

まず1つ目は、「高校に進学させる

里子さん。活動内容とそこに込めた思いにつ 学習支援などを行っています。「貧困に陥って いて伺いました。 いる子どもに手を差し伸べるのが私たち大 「特定非営利活動法人わたしと僕の夢」では への役目」と話すのは、同団体の代表、佐藤有 そうした子どもの貧困を解決しようと、

ここに

夏解決に向けて、

様々な取組を実施しています。

問題を抱える当事者と

緒に解決策を探る。 「今、抱えている悩みは何か」をひと り親世帯の母親たちと一緒に解決策 をともに模索することで、子どもの 学習能力の低下に着目。「無料塾」

地域住民や企業と協力し、 地域の課題として取り組む。 地域住民や大学生に学習塾の講師

としてボランティアに参加してもら う他、企業と協働で支援対策を実 施。地域の課題として取り組んで います。

という形で支援につなげています。

支援する地域を広げていく。 久留米市で続けてきた支援活動を、 隣接する佐賀県鳥栖市でもスタ・

させ、支援の手を広げています。

特定非営利活動法人 わたしと僕の夢

> 経済的に苦しい状況にある母親の声か ら、2012年に「特定非営利活動法人わ たしと僕の夢」を設立。生活保護世帯や 不登校の中学生の高校進学を支援する 無料塾を久留米市で運営し、学習指導 や食事の提供、職業体験を実施し、子ど もたちが将来の選択肢を増やす支援を 続けています。

久留米市東和町4-4 ウイングコート久留米2F

●T E L 0942-36-2626

https://www. watashitobokunoyume.org/

子どもへの教育支援を通して、

子家庭が抱える貧困の連鎖を断ち切りたい。

の開校や、行政や支援団体とシングルマ ました。現在は、佐賀県まで活動範囲を もの自尊心を高めることにもつながり る子どもの数が増えただけでなく、子ど ザーをつなげる支援を行っています。 広げ、中学生を対象に学習指導を行う塾 この活動で得られるやりがいは、「学 これらの活動を通して、高校に進学す

戻す姿」を見られることです。このよう 姿」や「子どもがキラキラした瞳を取り 習の習慣が身についていない子どもが自 してくれます。 な子どもの姿は、どんな苦労も吹き飛ば 分で進路を決断して進学や就職をする

や整理整頓などを指導しています。 むと同時に、大人になる上で大切な挨拶 提供しています。子どもらしい心身を育 学習レベルに合わせた指導をしています。 民や大学生がボランティアの講師となり を持たせ、栄養を考えた手作りの食事を 3つ目は、職業体験やマナー講座など 2つ目は、無料塾に子ども食堂の機能

何より子どもが「働く」イメージを持て るような機会を提供しています。 と連携し、子どもの将来の視野を広げ、 を行う体験学習の実施です。地域の企業 い夢を抱ける支援を続けていきます。 子どもが教育の機会を失うことなく明る

、ひとりに合わせた内容と 集中できる環境づくりを行っています

問題は山積みです。 私たちが想像する以 「住む場所がない 「親がいない」など しかし、解決すべき

です。そして、いつか私たちのような団体 て、団体を成長させることが今後の課題 で以上に地域や専門家、行政とも協力し がなくなることを目指し、様々な家庭の にも支援の手を差し伸べられるよう、今ま れない子どもがいます。そのような子ども 上に大変な家庭環境で、 高校進学が許さ



ご活用 ください!

福岡県生涯学習情報提供サイト

「ふくおか生涯学習ひろば」がリニューアルしました!



「ふくおか生涯学習ひろば」は、リカレント教育 (学び直し) やスキルアップ、趣味・教養、ボランティアなど、皆さんの生涯学習の推進を目的とした生涯学習情報提供サイトです。(※県ボラホームページと連携した生涯学習専用の別サイトです。)

誰もがいつでも身近に生涯学習情報を入手できるよう、2021年3月 にサイトを全面リニューアルしました!

今回新しい機能をご紹介しますので、是非ご覧いただき、皆さんの学 びの機会のきっかけや情報発信ツールとしてお役立てください!

主な新機能 1

ユーザー登録で情報発信ができます!

リニューアルサイトでは、「ユーザー登録」機能が追加され、大学、NPO、団体、行政機関等が自ら情報発信できるようになりました!講座・セミナー・イベント等の「学びの情報」や学んで活かすボランティア活動等の「活動情報」を掲載できます!

※県ボラホームページで登録いただいた情報は、連携したこちらのサイトでも表示されます!

主な新機能 2

活動レポートを掲載できます!

「紹介コーナー」を新たに設け、講座・セミナー・イベント、ボランティア活動等の終了後、活動報告や参加者の声を「活動レポート」として掲載できます!活動成果を見える化することで、県民の皆さんの学習・活動意欲の向上を目指します!

主な新機能 3

分野、地域、日付、キーワードによる複合検索ができます!

リニューアルサイトでは、「分野」、「地域」、「日付」、「キーワード」の複合検索ができるようになりました! 「分野」では「リカレント教育(学び直し)」 や「公開講座」、「地域」では「オンライン学習」 なども選択可能で、学びの情報が探しやすくなっています。ご自分に合った学びの情報を是非こちらから見つけてみてください!

【サイトに関するお問い合わせ】

福岡県NPO・ボランティアセンター 生涯学習班

TEL:092-631-4416/E-mail:gakushu@pref.fukuoka.lg.jp

https://www.gakushu.pref.fukuoka.lg.jp/

ふくおか 生涯学習 検索





情報誌 Conte(コンテ) 終了のお知らせ

平成17年度の創刊からNPO・ボランティアや 企業、行政など、様々な方々のご協力のもと発行 してきました情報誌コンテは、誠に残念ではあり ますが、今号をもって終了することとなりました。

これまで制作にご協力いただいた皆様、ご愛読いただいた読者の皆様、誠にありがとうございました。

今後は当センターホームページやメルマガ、 Facebook等を活用し、皆様に役立てていただける情報を引き続き発信してまいります。今後ともご協力賜りますようお願いします。



ふくおか 塩海学習 ひろば

福岡県 NPO 検索

https://www. nvc.pref.fukuoka.lg.jp/

NPO法人の皆さんへ

「事業報告書及び役員変更等届出書の提出」のお願い

NPO法人は、NPO法により、新事業年度開始後3ヶ月以内に、前事業年度の事業報告書等を所轄庁に提出しなければならないことになっています。また、NPO法人の役員(理事及び監事)については、登記の有無に関わらず、役員の変更(新任、再任、任期満了、辞任等)や役員の氏名又は住所若しくは居所に変更がある場合は、遅滞なく所轄庁等に届ける必要があります。※提出書類の様式は各所轄庁HPにあります。

インターネットを通じて行政手続が出来る電子申請システムにより提出することも可能です。 (大木町を除く。)各所轄庁HP等でご確認の上ご利用ください。



093-645-3101

福岡市 所管の法人 福岡市のみに 事務所を置いている法人

福岡市役所 市民局コミュニティ 推進部市民公益活動推進課 NPO認証・認定係

TEL 092-711-4927

大木町のみに 事務所を 置いている法人

大木町企画課 まちづくり係

TEL 0944-32-1036

福岡県 所管の法人 左記以外で福岡県内に主たる 事務所を置いている法人 福岡県NPO・

福岡県NPO・ ボランティアセンター 認証班

TEL 092-631-4412

TOPICS

福岡県NPO・ボランティアセンターより イベントやニュースなど 最新の情報をお届けします。

九州朝日放送株式会社から 「福岡県共助社会づくり基金」 への寄附金が 贈呈されました!

令和3年1月13日、「福岡県共助社会づくり基金」 に、九州朝日放送株式会社から寄附金4,656,267円 が贈呈されました。贈呈式では、和氣社長が「視聴者、 聴取者の皆さんからお寄せいただいた心のこもった募 金を『福岡県共助社会づくり基金』を通じて、NPO・ ボランティアの皆さんが行う豪雨災害の被災地支援の ために有効に活用していただきたい」と挨拶しました。 それを受け、江口副知事は「視聴者・聴取者の皆さん の真心のこもった寄附金を、NPO・ボランティアの皆 さんの活動の支援にしっかり活用させていただきま す」と謝意を伝えました。贈呈された寄附金は「ふくお か地域貢献活動サポート事業」に活用します。



写真左から:江口副知事、九州朝日放送株式会社 和氣靖社長

高齢者支援を通じた 地域社会づくりに取り組む 「グループリビングこすもす」が 特例認定を取得



写真: 辻吉保理事長

令和3年1月28日、特定非 営利活動法人グループリビン グこすもすが特例認定NPO 法人となりました。同法人は 病院や介護施設と連携し、一 人暮らしの高齢者が複数の 仲間と助け合って暮らす住ま い「グループリビング」の運 営を行っています。また賑わ いづくりのため、毎月入居者

や地域の方にも参加を呼びかけ、「地域ふれあい食事会」 を開催しています。「普段、診療でしか関わらない方のい ろいろな表情が見られたり、いつも沈みがちで笑顔のな かった方が和気あいあいとしている姿をみると嬉しくなり ます」と話すのは、同法人理事長でツジ胃腸内科医院の 院長を務める辻吉保さん。今後は、認知症の方とその家 族、地域の方や福祉の専門家が集い気軽に相談できる 「オレンジカフェ(認知症カフェ)」の開設も予定してお り、地域の高齢者が安心して暮らしていける社会づくりに 継続して取り組んでいきます。



共助社会づくりを応援する情報誌

発行日 2021年3月31日 発行 福岡県NPO・ボランティアセンター www.nvc.pref.fukuoka.lg.jp/ 「Conte (コンテ)」とはイタ リア語で「あなたとともに」 という意味です。「Conte」 は九州ADCと特定非営利活 動法人北九州市視覚障害者 自立推進協会あいず、泰平 印刷、福岡県NPO・ボラン ティアセンターが協働で制作 しています。

お問い合わせ・アクセス

所 在 地 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 福岡県吉塚合同庁舎5F

連 絡 先 TEL 092-631-4411 FAX 092-631-4413

email nvc@pref.fukuoka.lg.jp

開館時間 月曜日から木曜日 9:00~18:00 金曜日 9:00~20:00 月曜日から不曜日 9:00~17:00 第2・第4日曜日 9:00~17:00 ※第2・第4日曜が祝日にあたるときは、開館いたします。

休 館 日 土曜日、第1・第3・第5日曜日、祝日、年末年始 (12/29~1/3)

アクセス ●JR「吉塚」駅より徒歩約3分 ●西鉄バス「吉塚駅前」バス停より徒歩約3分

● 福岡市営地下鉄「馬出九大病院前」駅より徒歩約10分

Conteはスマホやタブレットでも

読んだり、聴いたりできます。

▶文字サイズを調整できる ▶音声読み上げもできる









